

事業所名

おもちゃ箱ふなばし

支援プログラム

作成日

令和7年 2月 17日

法人(事業所)理念		「生きる」を楽しく		
支援方針		一人一人の利用者さんの力を最大限に伸ばす支援、社会適応・未来を見据えた支援を目指す。		
営業時間		11時～17時	送迎実施の有無	有・無
		支援内容		
本人支援	健康・生活	身辺自立の習得（着衣着脱・トイレ・片付け・食事・清潔等）：一人一人に合わせ発達段階を見極め、伝え方教え方を考え丁寧に支援しています。		
	運動・感覚	<p>身体のコントロール（歩行トレーニング・集団活動・体幹トレーニング）：自らの身体をコントロールすることで感情のコントロールへと繋げる事を目指しています。また楽しみながら苦手を克服・得意を伸ばすことを考えプログラムを組んでいます。</p> <p>季節の製作（指先の発達を促す・ハサミ・のりなどの使い方やコツを学ぶ）：季節を感じると共に指先の器用さを習得できるよう取り組んでいます。（主に児発）</p>		
	認知・行動	<p>物・色・数字・ひらがな・身近な物等の認知：個別の学習で絵カードや実物・写真を使って認知力を高める。</p> <p>手伝い：自分の行動がどのように影響されるのか、自分の行動で助かる人がいるなど生活の中で知らせ、自分で考えて行動できるよう支援をしています。</p> <p>色々な事を柔軟に捉える：色々な人と生活する中で、物事を柔軟に捉えられるよう「そういう時もある」「色々なやり方がある」と知らせていく。また時にはこだわりを崩す支援を家族と相談し取り組み社会に出たときに、色々な人に受け入れてもらえる人材を目指す。</p>		
	言語・コミュニケーション	<p>発語・意思表示を増やす（挨拶・意思表示・会話）：一人一人の特性を見極め、最大限に成長を促せるよう繰り返し取り組む。</p> <p>伝える楽しさ（日常のコミュニケーション）：日頃の会話を大切に伝える楽しさ、コミュニケーション力を向上させる。大人が介入しすぎず、子ども達の人と関わろうとする行動を大切にする。</p>		
	人間関係・社会性	<p>友達や色々な人との関り：集団の活動を通し友達と活動する楽しさを感じられる内容を提供する（協力する遊び・ルールのある遊び・触れ合う遊び・買い物支援等）</p> <p>集団で生活する楽しさ：常に集団を意識した支援を心掛け、集団の輪に参加できるようサポートする。</p>		
家族支援	<p>家庭の事情や悩みに応じて家族支援を行う （例：朝の登校の付き添いなど）</p> <p>必要に応じて集団生活（幼稚園や保育園・学校）への訪問・相談受付</p>	移行支援	集団生活への引継ぎ表の作成	
地域支援・地域連携	<p>公共の遊び場に参加する。</p> <p>他事業所と交流を行う。</p> <p>事業所周りの掃除（年末）</p>	職員の質の向上	定期的な研修・定期的な会議で情報共有	
主な行事等	季節のイベント・誕生会・外出・保護者会・ミニ運動会・避難訓練			